

事業実施主体名	医療法人永仁会 永仁会病院		
構想区域（二次医療圏）	大崎・栗原区域	所在地	大崎市

調書作成年月日	令和5年1月5日
調書作成者	事務長 鈴木智裕

宮 城 県 地 域 医 療 構 想 と の 関 係

1 自院が所在する構想区域における病床機能報告結果と2025年の必要病床数
〈大崎・栗原区域〉

病床機能	病床機能報告 ＜令和3年度＞	本事業の方向性	必要病床数 ＜2025年＞
高度急性期	44	<div>減少</div> <div>転換</div>	182
急性期	1,275		567
回復期	313		669
慢性期	776		484
計	2,408		1,902

2 自院の現状（自院患者の動向分析，区域において担う自院の役割等）

当院は、1999年に東町から現在地に新築移転し23年になります。消化器内科・消化器外科・腎臓内科を主たる診療科とした一般病床80床の小規模病院であり、輪番制による2次救急医療機関として急性期医療を担っております。自院患者の動向としましては、直近5か年の一日平均患者数が、外来患者132名/日、透析患者62名/日、入院患者43名/日となっており、傾向として外来及び透析患者数に大きな変動は見られませんが、入院患者数は直近5年間の平均病床稼働率が54%と低迷が続いている状況にあります。月あたりの新入院数、新退院数には大きな変動が見られない中、内視鏡治療による短期滞在手術の増加、外科治療における腹腔鏡手術の割合の高まり等により、入院期間は過去20年間平均12.0日から直近5年間平均8.6日と短縮傾向にあることから、今後も病床稼働率の改善は見込めない状況にあります。

3 事業の必要性

入院病床は2階病棟34床、3階病棟46床の2病棟編成により合計80床で運営しております。直近5年間の平均病床稼働率は54%と効率的な病床運営が行えていない状況にあること、また2病棟編成を維持するための看護職員の人員確保も年々困難になってきております。さらには当地に新築移転した23年前から診療機能も変化してきておりますが、その変化に建物構造面で十分に対応できていない面があるため、本事業により職員の就労環境の改善、医療サービスの向上を図りたいと考えております。具体的には、病棟機能をすべて3階に集約し、2階については1階から薬剤科及び化学療法室を移設し拡張するほか、内視鏡室の拡張、書庫・備蓄庫等に転用予定です。1階の旧薬剤科及び旧化学療法室は医事課の拡張及び発熱外来に転用予定です。

4 事業実施により目指す状況（自院患者の動向予測，区域で担う自院の役割の変化，地域医療構想の推進内容等）

本事業による改修工事後の病床数は46床となりますが、直近5年間の平均入院患者数は43名であること、および46床のうち30床が個室であり、入院患者の受入環境については大きな変化はないものと見込んでおります。また当院の患者の動向、区域での当院の役割における変化は無く、地域医療構想の推進においては、大崎・栗原医療圏では急性期病床が過剰な状況にあることから、当院の急性期病床34床の削減は推進内容に沿った内容であると考えております。

5 その他（地域の事情に即し特別に考慮した事項など）

特になし

事 業 概 要

1 事業縮小計画 ○ 減少する急性期病床 ➡ 34 床

〈病院全体の病床機能別の許可病床数〉 R5.1.1現在			R6.4.1時点（予定）		
事業縮小前（合計病床数 [80] 床）			事業縮小後（合計病床数 [46] 床）		
病床の機能	入院基本料・特定入院料	病床数	病床の機能	入院基本料・特定入院料	病床数
高度急性期			高度急性期		
急性期	急性期一般入院料2	80	急性期	急性期一般入院料2	46
回復期			回復期		
慢性期			慢性期		

2 事業内容

2 事業内容			〔全体計画〕		事業着手	R5. 4	～	事業完了	～	R6. 3	事業縮小後の診療開始	R6. 4
○	施設整備	急性期病床の削減	事業費		（うち補助金申請予定額）		事業種別		対象面積		事業期間	
			104, 000, 000 円		51, 833, 000 円		改修		462. 8 m ²		R5. 4 ～ R6. 3	

特別損失	急性期病床の削減に伴うもの	固定資産除却損金額	（うち補助金申請予定額）	除却損内訳	損失計上時期
		円	円		
		固定資産廃棄損金額	（うち補助金申請予定額）	廃棄損内訳	損失計上時期
		円	円		
		固定資産売却損金額	（うち補助金申請予定額）	売却損内訳	損失計上時期
		円	円		

	退職金の割増相当額	急性期病床の削減に伴うもの	退職金割増相当額	（うち補助金申請予定額）	退職人数	事業実施時期
			円	円	人	

※事業期間が年度を跨る場合の 出来高見込み及び補助申請の予定	令和5年度の見込み		令和6年度の見込み	
	出来高（%）	補助金申請額（円）	出来高（%）	補助金申請額（円）
施設整備〔急性期病床の削減〕				
特別損失〔急性期病床の削減に伴うもの〕				
退職金の割増相当額〔急性期病床の削減に伴うもの〕				

令和5年度の単年度事業を予定

3 特記事項（効率的な事業実施のための取組，他の補助金等の活用の有無やその内容など特筆すべき事項）

「病床機能再編支援事業」と「病床機能分化・連携推進基盤整備事業」を併用